

入所説明会

各総合支所（旧町村）単位で、下表のとおり行います。入所申込書等はその場でお渡しします。当日説明会にお越しただけの方は、各総合支所窓口・保育園にも用意してありますので、お持ちください。

※すでに保育園に通っているお子さんについてはご来場いただく必要はありません。入所申込書等は保育園を通じて配布いたします。

期 日	会 場
11月1日(火)	明科総合福祉センター「あいりす」
11月4日(金)	豊科ふれあいホール
11月9日(水)	穂高会館 講堂（旧穂高町民会館）
11月10日(木)	三郷公民館 講堂
11月16日(水)	堀金保育園 遊戯室

■受 付 午前9時から（堀金は午前9時15分から）
■時 間 午前9時30分～11時

保育園自由見学会

各保育園を自由にご見学いただけるよう、次のとおり行いますので、ご希望の保育園へお出かけください。

■日 時
11月16日(水)・17日(木)
午前9時30分～11時

※受付簿にご記入のうえ、自由にご見学ください。
※保育の支障にならないようご配慮願います。（園長・職員への指示に従ってください）
入所申込書の受付は、11月下旬から行います。詳しくは、入所説明会の際にお知らせします。

来年4月保育園へ入園を希望するお子さんの、入所説明会と保育園自由見学会を次の日程で行います。

入園できるお子さんは、保護者が働いていたり、病気であつたり、病人の介護をしていたりなどの理由で、ご家庭で保育ができないお子さんです。ご家庭で保育できるお子さんは入園できません。

保育園の入所説明会と自由見学会を行います

幼稚園のご案内

穂高幼稚園 平成18年度入園説明会

期 日 10/28(金)・11/18(金) *ご都合の良い日にお出でください。
時 間 午前10時から 受 付 午前9時30分から
場 所 穂高幼稚園プレイルーム 持ち物 上履き・筆記用具
対 象 平成18年4月2日現在、満3歳～5歳の市内在住の幼児
その他 幼稚園の駐車場が満車の場合は、向かい側のグラウンドの駐車場をご利用ください。
お問い合わせ 穂高幼稚園 Tel.82-2053

健康福祉部 児童保育課
(穂高健康支援センター内)

TEL
81-1622

部 長・教育次長・議会事務局長



総務部長 黒岩豊彦 (本庁舎)
企画財政部長 土肥三夫 (安曇野庁舎内)
市民環境部長 坂内不二男 (穂高総合支所)
健康福祉部長 堀田陽司 (健康支援センター内)
産業観光部長 三澤賢二 (三郷総合支所)



都市建設部長 久保田栄次 (豊科総合支所)
上下水道部長 小松善嗣 (豊科総合支所)
教育次長 小林善明 (明科総合支所)
議会事務局長 赤澤喜夫 (堀金総合支所)

総合支所長



豊科総合支所長 平林栄司
穂高総合支所長 矢口俊雄
三郷総合支所長 鳥原寛海
堀金総合支所長 萩原賢司
明科総合支所長 増澤森義

安曇野市役所 部長級職員のご紹介

安曇野市の部長級職員をご紹介します。なお、カッコ内は部局のある支所等を示します。

図書館「利用の」案内

みなさんの図書館です。
わからないことがありましたら、
お気軽に職員に声をかけてください。

はじめて利用される時

はじめて本や視聴覚資料を借りるときは、係に申し出て「図書貸出願」に所定の事項を記入のうえ提出してください（本人であることを証明するものをご提示ください）。その場でカードを発行いたします。

■返却

お借りになった図書館へお返しください。

・開館時は、カウンターへお返しください。

・閉館時は、ブックポストへお返しください。ただし、CD・ビデオ・紙芝居等は開館時にカウンターへお返しください。

■予約（リクエスト）サービス

貸出し中の本の予約と読みたい本のリクエストができます。

■コピーサービス

・著作権法に基づいて、図書館の資料にかぎり、1人1部分をコピーすることができません（有料）。

■情報サービス

※明科・穂高のみ
・貸出しカードの提示により、インターネット用端末によるホームページの閲覧ができます。閲覧の印刷はできません。

開館日・開館時間の案内

豊科図書館（TEL 72・2158）

■開館時間
・平日 午前10時～午後6時
・日曜日 午前9時～午後5時
■休館日
月曜日・祝祭日・年末年始・整理日（毎月第2火曜日）ほか

穂高図書館（TEL 84・0111）

■開館時間
午前10時～午後5時30分
■休館日
月曜日および第5日曜日・祝祭日・年末年始ほか

三郷図書館（TEL 77・2109）

■開館時間
午前9時～午後4時30分
■休館日
月曜日・祝祭日・年末年始ほか

堀金図書館（TEL 72・5796）

■開館時間
平日
午後2時～午後6時
・土・日曜日および祝祭日
午前9時から午後6時
■休館日
月曜日・年末年始ほか

明科図書館（TEL 62・1122）

■開館時間
平日
午前10時～午後7時30分
・日曜日
午前10時から午後5時
■休館日
月曜日・祝祭日・年末年始・整理日（毎月第4金曜日）ほか



あづみ野 日和

連載 第11回 閉町村式

地域のお届けする「あづみ野日和」。記念すべき新市広報第1回（旧町村広報からは第11回）は、旧豊科町・穂高町・三郷村・堀金村・明科町が、9月下旬に行った閉町・閉村式の様子についてお伝えします。



この式典のために編曲された「あづみ野の四季」を合唱

9/25 豊科町閉町式 新市への期待を胸に「あづみ野の四季」を大合唱し、 豊科町の歴史に幕を閉じる

文の発表が行われ、会場から大きな拍手が送られました。

この式典のために豊科出身の飯沼信義桐朋学園大学院大学教授が編曲した「あづみ野の四季」を、20人の児童合唱団と、90人の女性コーラスの皆さんが1・2番を合唱、3・4番は、会場の皆さんがあづみ野市でも歌い継がれることを願いながら大合唱しました。

最後に、豊科地域内各小中学校代表の児童・生徒5人により町旗降納が行われ、参加者も起立し、熱い思いを胸に見守りました。

町・村の象徴に 別れを告げるとき…

それぞれの式典で町旗・村旗の降納が行われました。

（写真：①明科町②堀金村
③三郷村④穂高町⑤豊科町）



豊科町閉町式典は9月25日（日）、豊科公民館ホールで、歴代の町関係者や地域の役員、住民約800人が参加し行われました。
記念セレモニーでは、豊科北中学校吹奏楽部と、臼井文代さんのピアノ演奏を楽しみました。
式典では、豊科北小6年の山田泰喜さんと、豊科南中3年の日堂真由さんから「豊科町の豊かな自然とともに成長できた。あづみ野という言葉には力がある。これから視野が広がり楽しみだ」など作



9/23 金

穂高町閉町式

「礫山の鐘鳴り渡り 久遠の命絶ゆるなし
ああ 我ら新しき 歴史を開き 受け継がん」

穂高町の閉町式は、9月23日(金)、旧穂高町民会館で行われ、町関係者、地域役員、小中学生の代表ら約500人が参加しました。式典は早春賦愛唄会と町内コーラスグループの皆さんによる「早春賦」の合唱で幕が開きました。理事者や来賓のあいさつの後、地元小中学生の代表が「未来へのメッセージ」と題し、穂高へのメッセージを読み上げました。穂高北小6年の青木勇太君は、「豊かな自然、文化、芸術を大切に



礫山美術館の鐘の音で穂高町を見送る



して、日本に誇れる安曇野にしたい」と新市への期待の言葉を述べました。

エンディングの「閉庁の鐘」では、穂高東・西中学校の校歌「礫山の鐘鳴り渡り 久遠の命絶ゆるなし ああ我ら新しき 歴史を開き受け継がん」というフレーズが歌われ、会場の大型スクリーンに礫山美術館が映し出されました。会場内に同美術館の鐘の音が響き渡ると、涙をぬぐう参加者の姿も見られました。

9/25 日

堀金村閉村式

ふるさとへの感謝と 未来への誓いを胸に



堀金小学校合唱部の皆さん

の降納がおごそかに行われ、堀金小学校合唱部と小田多井・扇町のコーラスグループを中心に会場の全員で唱歌「ふるさと」を合唱し、最後に万歳三唱で閉村式が締めくくられました。堀金村50年の歴史は幕を降ろすこととなりましたが、「堀金」の変わらぬ大地とこの地に暮らす人々は、これからは豊科・穂高・三郷・明科の皆さんと共に、新たに安曇野市の歴史を築いてゆくこととなります。



堀金村の閉村式が9月25日(日)、旧堀金村総合体育館サブアリーナにおいて開催されました。堀金中学校吹奏楽部の演奏で幕を開け、堀金小学校6年生の細田敬祐君が「校舎の改築と川の学校の思い出」を、堀金村中学校3年生の青柳勇輝君が「田園風景の素晴らしさと常念岳登山の感想」を、作文にして披露してくれました。また消防団団旗の返還、村旗

9/23 金

三郷村閉村式



小中学生の代表がメッセージを発表

三郷村の閉村式は、9月23日(金)に、三郷文化公園体育館で行われました。

三郷小学校合唱部による歌声で幕を開いた式典には、村関係者をはじめ、地域の子どもたちや歴代の小中学校校長など、村内外から約700人が参加しました。式では、小中学生の代表2人がメッセージを発表しました。東京から三郷に転校してきた小学校6年生の吉田明日奈さんは、四季折々の自然の美しさを例に



挙げ「この自然豊かな姿をいつでも大切に」とのメッセージを寄せてくれました。村の歩みを振り返る映像が上映されると、参加者は懐かしい村の姿に目を細めていました。また、村旗降納の場面では、目に涙を浮かべる参加者もいました。最後に、「いつまでも三郷心のふるさとであるように」との願いを込め、参加者全員で唱歌「ふるさと」を歌い式典の幕を閉じました。

9/23 金

三郷村閉村式

ふるさと三郷を心に刻んで



明科町旗を見つめる

町歌「わが町」が斉唱される中で行われた町旗降納では、参加者が感慨深そうに町旗を見つめ、最後に尾崎町長に町旗が手渡され町の歴史を閉じました。

また、この日は町民みんなで町の最後を楽しもうと、住民有志が企画した閉町記念イベントも自然体験交流センター・せせらぎで開催され、熱気球の搭乗体験、小・中学生の吹奏楽、太鼓の演奏などの記念コンサート、特産品販売などが行われ、多くの人でにぎわいました。



9/23 金

明科町閉町式

ありがとう明科町 翔け安曇野市

明科町閉町式が9月23日(金)、明南小学校体育館で開かれました。式には、尾崎稔町長をはじめ町議会議員や地区役員など180人が参加し、50年の歴史を振り返るとともに、安曇野市の一員としての飛躍を誓い合いました。尾崎町長は「町の終わりを迎え、万感胸に迫るものがある。活力ある安曇野市になることを信じている」とあいさつしました。このほか、町の発展に寄与した功労者の表彰も行われました。